

2027年度 学士入学試験・編入学試験・転入学試験 学生募集要項

- ・ 不測の事態により、所定の日程どおりの入学試験や合否発表等を実施することが困難であると大学が判断した場合には、大学ホームページでお知らせします。
- ・ 災害救助法適用地域在住で被災された2027年度入学者に対し、検定料および入学時納入金・学費等に関する特別措置を構じます。該当者は確認してください。

個人情報等の取り扱いについて

- ① 東京家政大学では、出願に際して取得した氏名・住所その他の個人情報について、入学試験の実施、合否判定、合格通知、入学手続、入学前準備教育、統計資料作成その他これらに付随する業務を行うために利用し、適切かつ安全に管理します。なお、入学試験の結果については、当該出身学校へ情報提供を行う場合があります。個人情報のデータ処理等については外部に委託することがありますが、その際は本学が責任をもって監督・管理します。
- ② 出願書類を提出いただいたことにより、上記事項を理解し、同意していただいたものとして取り扱います。

アドミッション・ポリシー	2
災害救助法における特別措置	11
実施学部・学科・専攻	13
入学試験詳細	
1. 学士入学試験	14
2. 一般編入学試験	16
3. 転入学試験	20
出願手続	
1. 入学検定料、出願期間	23
2. 出願手続書類	24
3. 出願の流れ	27
入学検定料の支払い方法	29
試験	
1. 専門科目	31
2. 試験当日の注意事項	32
3. 受験上の配慮	36

合否発表、入学手続	
1. 合否発表、入学時納入金納入手続締切	37
2. 入学手続の完了	38
入学時納入金	39
入学後納入金	40
入学後の支援、入学前準備教育	41
資格取得に関する注意事項	42
物件情報、奨学金等	44
「こども性暴力防止法」施行に伴う留意点	45
入学辞退に伴う学費返還	46
試験会場	47
アクセスマップ	48

アドミッション・ポリシーとは、本学の建学の精神と生活信条に基づき、本学が積極的に受け入れるための基本方針です。この方針に基づき、次のような人を求めます。

建学の精神である自主自律を目指す女性を求めます

求める人材像

- 専門的な知識・技術・技芸を身につけ、社会に貢献し活躍することを志す女性
- 広い教養と健全な常識を有し、自主的自律的な人生を望む女性
- 現代の諸課題に対し女性としての感性と知性を発揮し、将来希望の持てる世の中にしていくことを目指そうとする女性

生活信条としての「愛情・勤勉・聡明」を大切にする女性を求めます

求める人材像

- 自己のみならず他者への愛情も持ち、それに報いるための勤勉さと、妥当で正当な判断の出来る聡明さを身につけようと志す女性
- 自己の幸福と周囲の人達の幸福を重ね合わせることでできる女性
- グローバルスタンダードとしての生活技術の豊かさを収めながら、心の大切さを忘れない女性

学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

栄養学科

【知識・技能】

- ・栄養士免許・教員免許の他、各種資格取得に向けて学ぶために必要な生物・化学に関する基礎知識を理解している。
- ・文章を読み解く力と自らの言葉で他者にわかりやすく簡潔に説明できる文章力を有している。
- ・家庭、地域及び食産業界において役立てられるよう、日々の食事作りに積極的に取り組み、その基礎的な調理技術を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・「食と健康」に対して積極的に関心を持てる。
- ・「食と健康」に関する様々な課題を見つけられる。
- ・自分の考えを表現するために、様々な工夫ができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・「食」と人の健康、病気及び生命との関わりについて、自らの意見を述べるができる。
- ・栄養士、管理栄養士、中学校・高等学校教諭、栄養教諭として社会に貢献するために、主体的に関連分野の知識・技術の習得に努めることができる。
- ・様々な問題に対し多面的に解決方法を考え、人の様々な考え方や知識・技能を取り入れようと努めることができる。

管理栄養学科

【知識・技能】

- ・健康の保持増進、公衆衛生や医療に関して学ぶために必要な生物・化学に関する十分な基礎知識を理解している。
- ・文章を読み解く力と自らの言葉で他者にわかりやすく簡潔に説明できる文章力を有している。
- ・管理栄養士の技能として求められる数値やデータを整理するための情報処理の基礎的知識及び技術を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・「食と健康」に対して積極的に関心を持てる。
- ・「食と健康」に関する様々な課題を見つけられる。
- ・自分の考えを表現するために、様々な工夫ができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・「食」と人の健康、病気及び生命との関わりについて、自らの意見を述べるができる。
- ・栄養士、管理栄養士、中学校・高等学校教諭、栄養教諭として社会に貢献するために、主体的に関連分野の知識・技術の習得に努めることができる。
- ・様々な問題に対し多面的に解決方法を考え、人の様々な考え方や知識・技能を取り入れようと努めることができる。

人材養成及び教育研究上の目的

食と健康に関する専門的知識と実践的技術を教授し、栄養士・管理栄養士としての使命感と社会的役割を理解し、人々の健康向上に寄与する人材を育成する。

栄養学科

栄養士に必要な栄養学・食品学の基礎と実践力を育て、食の安全・安心、食文化、食環境、食教育など多様な領域で活躍できる「食のスペシャリスト」を養成する。

管理栄養学科

医療・福祉・公衆栄養の現場で求められる高度な専門知識と技能を備え、ライフステージや健康状態に応じた栄養管理・栄養教育・給食管理を実践できる管理栄養士を養成する。

学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

児童学科

【知識・技能】

- ・児童学(保育・心理・福祉・文化・保健等)を学ぶために必要な高校卒業程度の学力を有している。
- ・こどもの体験を豊かにする技能(造形・音楽・体育等)を学ぶために必要な高校卒業程度の学力や技能を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・こどもと子育てをめぐる事柄について、情報を収集し、筋道を立てて論理的に考えることができる。
- ・自分が直面した課題に対して、過去に身につけた知識や経験を活かして、望ましい解決策や対応を選択することができる。
- ・豊かな感性を有し、自分の心情や考えを他者に対して多様な方法(身体や言葉等)を用いて伝えることができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・こどもと関わるのが好きで、その幸せを追求する専門家となる意欲がある。
- ・こどもや子育てを取り巻く社会の事柄について関心がある。
- ・相手の気持ちや考え、立場を尊重し、対話的なコミュニケーションができる。
- ・幼児教育・保育や子育て支援に関する社会活動に積極的に参加したいという意欲がある。

初等教育学科

【知識・技能】

- ・高校までに学習する教科等において、基本的な概念を理解し、知識や技能を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・課題解決のための意欲を持ち、課題解決に向けて探究する思考力、判断力を有する。他者とのかかわりのなかで、自分の意見や考えを表現する力を有している。
- ・公共の意識を持ち、事実を基に多面的に考え、公正に判断する力を身につけている。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・教育についての信念と児童への教育愛に関心を持っている。
- ・人権尊重の精神を持ち、多様性を認めて、コミュニケーションを図りながら、様々な人々と連携して教育を行おうとする。

人材養成及び教育研究上の目的

児童学部は、建学の精神「自主自律」に基づき、児童（18歳未満の子どもたち）の育ちのプロセスをふまえて、保育・教育を中心としたさまざまな観点から児童を理解し、多様な背景をもつ児童一人ひとりの発達を保障することができる高い専門性を備えた保育者・小学校教員を育成する。

児童学科

児童学科は、子ども一人ひとりを尊重し、その健全な心身の形成ができる人材養成を目的とする。そのための学術的・実践的探究を通し、幼稚園教諭、保育士などの免許・資格の取得を軸に、高度な専門性と豊かな心を持ち教育と保育に貢献する人材を育成する。

初等教育学科

初等教育学科は、知的探求心が旺盛で、豊かな心を持ち、健康な身体をもった児童の育成のできる教員を養成することを目的とする。そのために、理論とともに優れた実践力を兼ね備えた小学校教諭を主に、幼稚園の教諭を育成する。

学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

服飾美術学科

【知識・技能】

- コミュニケーションに必要な、聴く、話す、書く、読む能力の基礎となる国語の知識を有する。
- 服飾分野の総合的な学修を目指し、ファッション以外にも、自然科学や社会科学に対しても関心と学習意欲がある。

【思考力・判断力・表現力】

- 状況分析を行い、問題を発見し、それに対する論理的な解決策を提案する姿勢を持つ。
- 自分のアイデアを明確に、かつ説得力をもって表現しようとする姿勢を持つ。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- 服飾に関する新しい知識を積極的に学び、自己反省を通して成長しようとする意欲を持つ。
- 異なる背景を持つ人々と協力し、共通の目標を達成するために努力する。

造形表現学科

【知識・技能】

- 考える、聞く、話す、書く、読むの礎となる国語の基礎能力を有している。
- ものづくり、デザイン、アートに好奇心を持って学ぶことのできる基礎的学力が期待できる。

【思考力・判断力・表現力】

- 造形表現の各分野で学ぶことをもとに、広く社会との関わりを考えていく意思が期待できる。
- 得意な表現分野を見つけ、自身の感性に基づき表現し実践する力を育てたいと望んでいる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- プロセスを大切に、チームワークの中で作品の制作がしたいと考えている。
- 造形表現の各分野で学ぶ総合的なコミュニケーション力を活かし、自らの将来を切り拓こうと望んでいる。
- 幅広い造形力と教養を、主体的に身につける意欲がある。

人材養成及び教育研究上の目的

共創デザイン学部は、各専門分野の学術的知識と伝統ある充実した実践技術を教授し、人と人の繋がりを大切にする心を育み、豊かな生活を築くとともに社会で活躍する人材を育成する。

服飾美術学科

服飾美術学科は、デザイン、服飾造形、服飾工芸、アパレル設計、服飾文化、ビジネス、素材・加工・整理を総合したカリキュラムのもとに、服飾を科学とファッションの両面からとらえ、アパレル・教育界に貢献できる人材を育成する。

造形表現学科

造形表現学科は、社会環境の変化や家政学部的美術に相応しい教育内容に応えるため、デザイン、アート、映像、工芸、建築、インテリアを基礎から総合的に学ぶことにより、生活空間を美しく快適に創造し、たくましい心と感性を持つ人材を育成する。

学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

英語コミュニケーション学科

【知識・技能】

- ・グローバルな時代に必要とされる教養として、英語を学ぶために必要な4技能5領域の基礎力を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・現代社会の諸問題に対して日常的に関心を持ち、自らの言葉で、その内容や意見を正しく表現できる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・多様な価値観を持つ人間関係の中で、自ら主体性を持ち、他者と協働で活動を行い、成し遂げる意欲がある。

心理カウンセリング学科

【知識・技能】

- ・心理支援、学校保健、またはマネジメント等に関する文献を読むための基本的な読解の力、論証的な文章に必要な基本的な表現の力が身についている。
- ・データ収集・統計的分析・解釈に必要な基本的な読解、想像力、判断推理の力が身についている。
- ・学術的な文献の内容理解に必要な基本的な英文法、英単語、英文読解の知識が身についている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・自ら論理的に思考し、自分自身の意思で決定・行動する姿勢をもっている。
- ・物事を客観的・多面的に考察しようとする意欲がある。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・物事に対して積極的に関与し、粘り強く継続的に取り組もうとする意欲がある。
- ・人間の尊厳を尊重し、自己・他者の双方を大切にする姿勢をもっている。
- ・他者と積極的に関わり、多様な意見に肯定的関心を示す意欲がある。

教育福祉学科

【知識・技能】

- ・普段から読書に親しむ等の国語力が身につけており、基本的な計算やデータを読み解く基礎となる数学に関する知識を身につけている。
- ・歴史や文化、海外を含めた社会情勢に関心を持ち、自分の生活と結びつけて地理・歴史・公民や外国語に関する知識を身につけている。

【思考力・判断力・表現力】

- ・日々の暮らしや学習の中で生まれる疑問や課題に対して楽しんで向き合うことができる。
- ・疑問や課題について持っている知識と関連づけて考え、自分の意見としてまとめ、人に伝えることができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・自分の関心や興味に基づいてボランティア活動等の社会活動に積極的に参加し、目標に向かって努力していかうとする意欲がある。
- ・自分とは異なる考えや立場、価値観を持つ人とも尊敬しあいながら学ぶことができる。

人材養成及び教育研究上の目的

人文学部は、専門的な学術の理論と実践的な知識や技術を教授し、国際的な視野に立ち、人間理解を深め、多種多様な考え方を受容できる能力を養い、社会で活躍する人材を育成する。

英語コミュニケーション学科

英語コミュニケーション学科は、国際化時代に対応できる英語によるコミュニケーション能力を養成し、英米文学・英語学・英語教育に関する学識を深め、視野の広い総合力を持った人材を育成する。

心理カウンセリング学科

心理カウンセリング学科は、医療・教育・産業等の社会のあらゆる領域において、心理学の知識と対人関係スキルを備えた実践力のある人材を育成する。

教育福祉学科

教育福祉学科は、複雑化した社会における生涯にわたる人間関係の諸問題に対応する総合的な力を育成し、ライフコースを支援できる専門知識や技術を持つ人材を育成する。

学環の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

社会デザイン学環

【知識・技能】

- 社会的課題に関して興味・関心を持ち、学ぶために必要な高校卒業程度の基礎学力を有している。
- 情報通信技術に関して興味・関心を持ち、学ぶために必要な高校卒業程度の基礎学力を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- より良い社会デザインの構想に関して、多角的かつ多面的に考える基礎的な思考力を有している。
- より良い社会デザインの構想に関して、収集した情報を検討し、適切なアプローチを試行する力を有している。
- より良い社会デザインの構想に関して、そのアイデアや提案を文章や作品などで適切に示すことのできる基礎的な表現力を有している。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- 主体性を持って物事に対して積極的に関与し、粘り強く継続的に取り組むことができる。
- 自らの考えをしっかりと持ち、多様な考え方を尊重し、肯定的関心を示すことができる。
- 学んだことを共有し、それを活かして、より良い社会を構築したいという意欲を有している。

— 人材養成及び教育研究上の目的 —

様々な社会資源・社会的インフラを活用して社会的包摂に取り組み、企業・自治体・地域をリ・デザインできる素養を持った人材を育成します。

学環の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

文化情報学環

【知識・技能】

- ・情報活用能力等の技能を身につけるために必要な高校卒業程度の基礎学力を有している。
- ・文化情報にかかわる複数領域の基礎的・専門的知識を横断的に理解するために必要な高校卒業程度の基礎学力を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・文化・経済活動にかかわる疑問や課題についての自身の意見を、愛情を持って表現するための基礎的表現力を有している。
- ・自ら課題を掲げ、その課題解決に向けて、勤勉に探究するための基礎的思考力を有している。
- ・社会・生活・文化における事象について、聡明に把握するための基礎的判断力を有している。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・他者と意見を交換し対話を促進させる協働学習に対して、愛情を持って取り組むことができる。
- ・主体的な課題解決のための学習に対して、勤勉に取り組むことができる。
- ・多様な文化情報にかかわる学習について、新たな価値創出を目指して聡明に取り組むことができる。

－ 人材養成及び教育研究上の目的 －

社会で日々創出される膨大な文化情報を収集・分析することで社会的な課題を発見し、その課題に対して新たな価値を提案・実践できる人材を育成します。

学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

看護学科

【知識・技能】

- 看護学を学ぶために必要な国語・数学・英語・理科（生物・化学）の基礎学力を有している。
- 対人関係を築くために、積極的かつ柔軟にコミュニケーションができる。

【思考力・判断力・表現力】

- 自律的な思考に基づき、意思決定し、行動することができる。
- 目的や課題を明らかにし、課題の解決に向けて取り組むことができる。
- 他者の価値観を尊重し、意見の違いや立場の違いを理解できる。
- 相手の意見を丁寧に聴き、自分の意見をわかりやすく表現できる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- 看護に強い興味・関心があり、主体的に看護を学ぶ意欲がある。
- 健康的な生活習慣を積極的に身に付け、ストレスに対する適切な行動をとることができる。
- 前に踏み出す勇気をもって物事に進んで取り組むことができる。
- 何事にも、主体的かつ継続的に取り組むことができる。
- 多様な人々と積極的に関わり、協働することができる。

リハビリテーション学科

【知識・技能】

- あらゆる年代の人たちと信頼関係を築くために必要不可欠なコミュニケーション能力の基礎となる国語と英語の基礎を身につけている。
- 多くの情報から正確に問題点を抽出するための論理的思考を育む数学の基礎を身につけている。
- 生命活動の本質を追求する上での基礎となる生物や物理、化学等の教科にも関心がある。

【思考力・判断力・表現力】

- 物事の本質を捉え、筋道を立てて論理的に考え、根拠に基づいて判断し、課題を解決できる。
- 他者の意見を尊重しつつ自分の考えをわかりやすく伝えることができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- 保健・医療・福祉に興味や関心を持ち、人に関わる現象を探究するために自ら行動を起こすことができる。
- 多様な考えやチームの中での個人の役割を理解し、協働して課題解決に取り組むことができる。

人材養成及び教育研究上の目的

健康科学部は、看護及びリハビリテーションの分野で、科学的根拠に裏づけされた知識・技術と生命の尊厳と人格を尊重する態度を涵養し、あらゆる年代の人々の健康の保持増進と自分らしく「生活する」ことを支援できる人材を育成する。

看護学科

看護学科は、専門知識と、保健・福祉・看護の基盤となる援助的人間関係を成立・発展させる技術を教授し、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象とし、健康の保持増進と生活の質を維持する看護実践ができる看護師・保健師・助産師を育成する。

リハビリテーション学科

リハビリテーション学科は、専門知識・技術を基に乳幼児から高齢者までを対象に、作業療法学専攻では、人の“こころ”、“からだ”、“生活”に焦点を当て、その人らしい生活が獲得できるように支援できる人材を育成する。
理学療法学専攻では、疾病や傷害に起因する機能や形態障害に対して基本的身体能力や移動能力の改善を支援できる人材を育成する。

学科の「人材養成及び教育研究上の目的」を理解し、この目的を達成するために自主的に学ぶ意欲を持った人材及びディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーで求められている教育を受けるために、必要な次に示す知識・技能、思考力・判断力・表現力を有する人材を求めます。

子ども支援学科

【知識・技能】

- ・幼児教育・保育の知識・技能について関心を持ち、積極的に学ぶ意欲がある。
- ・話すこと、聞くこと、書くこと、読むことといった総合的な言語能力を身につけている。
- ・表現の内容が含まれる体育や芸術における音楽、美術、工芸、書道のいずれかに関する基礎的な知識・技能を有している。

【思考力・判断力・表現力】

- ・日常生活において自ら課題を見つけ改善しようとする力を有している。
- ・自らの考えを他者に対して正確に伝達できるコミュニケーション力を持っている。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

- ・障がいや病児などを含む、様々な子どもに関する知識や技術を、自ら学ぼうとする意欲や姿勢を持っている。
- ・他者の意見を傾聴し、協働する態度を有している。

— 人材養成及び教育研究上の目的 —

子ども支援学部は、健やかな生命と豊かな人格を目指す幼児教育・保育、多様なニーズに応じた幼児教育・保育、園・家庭・地域社会との一体的幼児教育・保育、子どもと未来を育む幼児教育・保育、研究と研鑽を基盤とした幼児教育・保育ができる人材を育成する。

子ども支援学科は、基礎教養・子ども学理論・子ども学実践・特別支援教育・健康保育・総合研究と多方面にわたる学修に基づき一人ひとりの子どものより望ましい育ちを支援できる幼児教育・保育の人材を育成する。

災害救助法における特別措置(1 / 2)

本学では災害救助法適用地域在住で2026年度に被災された2027年度入学者に対し、次の特別措置を講じます。

対象

- ①家計支持者の居住する家屋が全壊（全焼、全流失、大規模半壊）、半壊、一部損壊の被害を受けた場合。
 - ②家計支持者の収入が当該災害により喪失または激減した場合。
- 原則として公的機関等の罹災証明書及び収入（所得）証明書の提出により判定します。また、必要に応じて戸籍の個人事項証明書（戸籍抄本）、修繕費（見積り）等の提出を求める場合があります。

内容

減免措置は以下のとおりです。

- A. 入学検定料と入学金の返還、1年間の学費等免除
 - B. 入学検定料と入学金の返還、半期分の学費等免除
 - C. 見舞金（その被害の程度に応じて3万円、5万円、10万円を支給する）
- 返還金と見舞金は「学校法人 渡辺学園」名義で2027年6月末までに振込にて返還・支給する予定です。

家宅等 被災状況 \ 収入状況	収入状況		
	収入喪失	収入激減	変化なし
全壊	A	A	A
半壊	A	A	B
一部損壊	A	B	C
被害なし	A	B	

※家宅等とは、家計支持者が所有・居住する家屋または生産手段

手続方法

特別措置申請者は入学後に申請を行ってください。

提出書類

①被災者特別措置申請書・返還金振込依頼書（本学所定用紙）

所定用紙はアドミッションセンターにお問い合わせのうえ取得してください。

②罹災証明書（市区町村発行）

③2025年・2026年の収入（所得）証明書または源泉徴収票（コピー可）および災害により収入の喪失または減少がわかる証明書（失業等）、自営業の場合も被災状況を証明する書類およびその説明書（A4用紙様式自由）を提出してください。

①②③の提出書類をそろえ、封筒（各自準備）に「災害救助法被災者特別措置願」と朱書きし、提出してください。

提出期限

2027年4月1日(木)～4月9日(金)

提出先

板橋キャンパス 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 東京家政大学 学生支援課

狭山キャンパス 〒350-1398 埼玉県狭山市2-15-1 東京家政大学 学務課

入学前問い合わせ先

東京家政大学 アドミッションセンター TEL：03-3961-5228

実施学部・学科・専攻

以下の学科・専攻で若干名の募集

※「若干名」の募集は、学科・専攻の基準を満たす者を合格とするため、事前の設定はありません。

学部	学科・専攻		学士 入学試験	一般編入学試験		転入学試験	
				2 年次	3 年次	2 年次	3 年次
栄養学部	栄養学科		—	—	○	—	—
児童学部	初等教育学科		○	○	○	○	○
家政学部 ※	服飾美術学科		○	○	○	○	○
	環境共生学科		○	—	○	—	○
人文学部	英語コミュニケーション学科		○	○	○	○	○
	教育福祉学科		○	○	○	○	○
健康科学部	リハビリ テーション学科	作業療法学専攻	○	○	○	○	○
		理学療法学専攻	○	○	○	○	○
子ども支援 学部	子ども支援学科		○	○	○	○	○

※服飾美術学科は2年次入学の場合、共創デザイン学部となります。

1.学士入学試験（1 / 2）

学士の資格を得た人が、学部の3年次に入学する制度です。

出願資格

・学士の学位を取得または2027年3月取得見込みの女子。

※日本語を母国語としない者は、日本語で授業を受けるために必要な日本語能力を有する必要がある。
（日本留学試験（EJU）の日本語各科目（聴解・聴読解、読解、記述）が平均点以上、または、日本語能力試験（JLPT）N2以上に該当する日本語能力が必要となる。）

試験日・選抜方法

出願書類および以下の試験結果により決定します。

試験日・試験会場	試験時間割	
2026年10月18日(日) 板橋キャンパス 9:40までに着席	10:00～11:00	11:20～
	専門科目 60分	面接

出願期間 出願書類および手続き方法はP.23～「出願手続」を参照してください。

2026年9月28日(月)～10月13日(火)郵送必着

※最終日は窓口（板橋キャンパス・アドミッションセンター）でも受け付けます。

窓口受付時間：9:00～15:00（Web出願サイト入力可能時間は12:00まで）

1.学士入学試験（2 / 2）

学士の資格を得た人が、学部の3年次に入学する制度です。

専門科目について

各学科・専攻の専門科目の履修能力を判定する内容を出題します。P.31「専門科目」

資格取得に関する注意事項

途中年度への入学等の場合、資格取得に注意を要する場合があります。P.42「資格取得に関する注意事項」

合否発表

2026年11月2日（月）10:00 Web発表 ※合否結果は郵送しません。

合格者はP.37～「合否発表、入学手続」を参照のうえ入学手続を行ってください。

入学時納入金納入締切

2026年11月6日（金）

2.一般編入学試験（1 / 4）

異なる学校種を修了した人が、学部編入学する制度です。

出願資格

次の各項のいずれかに該当する女子。

- ①短期大学を卒業した者または2027年3月に卒業見込みの者。
- ②高等専門学校を卒業した者または2027年3月に卒業見込みの者。
- ③専修学校の専門課程（修業年限が2年以上、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上であるものに限る）を修了した者または2027年3月に修了見込みの者。
- ④修業年限が2年以上のその他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科修了者または2027年3月に修了見込みの者。

※日本語を母国語としない者は、日本語で授業を受けるために必要な日本語能力を有する必要がある。

（日本留学試験（EJU）の日本語各科目（聴解・聴読解、読解、記述）が平均点以上、または、日本語能力試験（JLPT）N2以上に該当する日本語能力が必要となる。）

入学年次について

編入学生の入学年次は、認定が見込まれる単位数を基に決定します。

- ①31単位以上62単位未満の認定の入学年次は2年次とする。
- ②62単位以上の認定の入学年次は3年次とする。

※栄養学科は3年次に編入が可能な者のみに限ります。

出願前の認定単位数確認について

出願前に、認定が見込まれる単位数の確認を行います。出願希望者は次頁の期日までに以下の資料を準備し、アドミッションセンターに申し出てください。

- ①出身短期大学の成績表や成績証明書のコピー（在学中の者は履修中の科目が明記されたもの）
- ②シラバスなど授業内容がわかる資料
- ③単位数確認申込書 本学指定の様式

2.一般編入学試験（2 / 4）

異なる学校種を修了した人が、学部編入学する制度です。

出願前の認定単位数確認受付締切

事前問い合わせ先：アドミッションセンター TEL:03-3961-5228(平日 9:00～17:00)

資料送付先：〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 東京家政大学アドミッションセンター

2026年 9月 16日(水)郵送必着 結果通知：10月 7日(水)まで ※提出された書類は返却いたしません。

試験日・選抜方法

以下の試験結果と出身学校の成績および単位履修状況により決定します。

試験日・試験会場	試験時間割	
	10:00～11:00	11:20～
2026年10月18日(日) 板橋キャンパス 9:40までに着席	専門科目 60分	面接

出願期間

出願書類および手続方法はP.23～「出願手続」を参照してください。

2026年 9月 28日(月)～10月 13日(火)郵送必着

※最終日は窓口（板橋キャンパス・アドミッションセンター）でも受け付けます。

窓口受付時間： 9:00～15:00（Web出願サイト入力可能時間は12:00まで）

2.一般編入学試験（3 / 4）

異なる学校種を修了した人が、学部編入学する制度です。

栄養学科・初等教育学科・リハビリテーション学科・子ども支援学科への出願の注意事項

出願は、同系統（それに準ずる系統）の学問分野からの者に限ります。

下表の資格等を有する者は取得を証明する書類を提出すること。

出願先学科・専攻		資格・免許
栄養学科		栄養士の資格を取得または取得見込の者
初等教育学科		小学校教諭または幼稚園教諭の資格を少なくともどちらか一方を取得または取得見込の者
リハビリ テーション 学科	作業療法学専攻	作業療法士の資格を取得または取得見込の者
	理学療法学専攻	理学療法士の資格を取得または取得見込の者
子ども支援学科		幼稚園教諭、保育士の資格を取得または取得見込の者

2.一般編入学試験（4 / 4）

異なる学校種を修了した人が、学部編入学する制度です。

専門科目について

各学科・専攻の専門科目の履修能力を判定する内容を出題します。P.31「専門科目」

資格取得に関する注意事項

途中年度への入学等の場合、資格取得に注意を要する場合があります。P.42「資格取得に関する注意事項」

合否発表

2026年11月2日（月）10:00 Web発表 ※合否結果は郵送しません。

合格者はP.37～「合否発表、入学手続」を参照のうえ入学手続を行ってください。

入学時納入金納入締切

2026年11月6日（金）

3.転入学試験（1 / 3）

大学で取得した単位を基に、学部転入学する制度です。

出願資格

次の各項のいずれかに該当する女子。

- ・修業年限が4年以上の大学に1年以上在学（休学期間を除く）し、卒業に必要な単位を31単位以上修得した者または2027年3月に修得見込みの者。

※日本語を母国語としない者は、日本語で授業を受けるために必要な日本語能力を有する必要がある。

（日本留学試験（EJU）の日本語各科目（聴解・聴読解、読解、記述）が平均点以上、または、日本語能力試験（JLPT）N2以上に該当する日本語能力が必要となる。）

入学年次について

転入学生の入学年次は、認定が見込まれる単位数を基に決定します。

- ①31単位以上62単位未満の認定の入学年次は2年次とする。
- ②62単位以上の認定の入学年次は3年次とする。

出願前の認定単位数確認について

出願前に、認定が見込まれる単位数の確認を行います。出願希望者は次頁の期日までに以下の資料を準備し、アドミッションセンターに申し出てください。

- ①出身短期大学の成績表や成績証明書のコピー（在学中の者は履修中の科目が明記されたもの）
- ②シラバスなど授業内容がわかる資料
- ③単位数確認申込書 本学指定の様式

出願前の認定単位数確認受付締切

事前問い合わせ先：アドミッションセンター TEL:03-3961-5228(平日9:00～17:00)

資料送付先：〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1 東京家政大学アドミッションセンター

2026年9月16日(水)郵送必着 結果通知：10月7日(水)まで ※提出された書類は返却いたしません。

3.転入学試験（2 / 3）

大学で取得した単位を基に、学部転入学する制度です。

試験日・選抜方法

以下の試験結果と出身学校の成績および単位履修状況により決定します。

試験日・試験会場	試験時間割	
	10:00～11:00	11:20～
	専門科目 60分	面接
2026年10月18日(日) 板橋キャンパス 9:40までに着席		

出願期間

出願書類および手続方法はP.23～「出願手続」を参照してください。

2026年9月28日(月)～10月13日(火)郵送必着

※最終日は窓口（板橋キャンパス・アドミッションセンター）でも受け付けます。

窓口受付時間：9:00～15:00（Web出願サイト入力可能時間は12:00まで）

3.転入学試験（3 / 3）

大学で取得した単位を基に、学部転入学する制度です。

初等教育学科・リハビリテーション学科・子ども支援学科への出願の注意事項

出願は、同系統（それに準ずる系統）の学問分野からの者に限ります。

専門科目について

各学科・専攻の専門科目の履修能力を判定する内容を出題します。P.31「専門科目」

資格取得に関する注意事項

途中年度への入学等の場合、資格取得に注意を要する場合があります。P.42「資格取得に関する注意事項」

合否発表

2026年11月2日（月）10:00 Web発表 ※合否結果は郵送しません。

合格者はP.37～「合否発表、入学手続」を参照のうえ入学手続を行ってください。

入学時納入金納入締切

2026年11月6日（金）

出願手続 1. 入学検定料、出願期間

Web出願サイトで必要事項を入力、入学志願票を印刷し、出願書類一式を郵送してください。

東京家政大学Web出願サイト <https://www.eraku-p.jp/erp/tokyo-kasei/>

入学検定料

入試区分	入学検定料
学士入学試験	34,000円
一般編入学試験	34,000円
転入学試験	34,000円

- Web出願サイトの画面の指示に従って入学検定料を納入してください。
- 入学検定料はコンビニエンスストア、またはクレジットカードで支払いが可能です。支払方法についてはP.29～「入学検定料の支払い方法」を参照してください。

出願期間

入試区分	出願期間
学士入学試験	2026年9月28日（月）～ 10月13日（火）必着
一般編入学試験	
転入学試験	

Web出願サイト入力可能期間

入試区分	Web出願サイト入力可能期間
学士入学試験	2026年9月27日（日）9:00～ 10月13日（火）12:00
一般編入学試験	
転入学試験	

※最終日は窓口（板橋キャンパス・アドミッションセンター）でも受け付けます。

窓口受付時間：9:00～15:00（Web出願サイト入力可能時間は12:00まで）

入学検定料納入および出願書類の記載事項の確認を行ったうえで提出してください。

出願手続 2. 出願手続書類（1 / 3）

出願方法は、P.27～「3.出願の流れ」を参照してください。

マイページについて

Web出願サイトにアクセスし、志願者氏名、メールアドレスを入力してログインIDを取得すると「マイページ」が作成されます。作成した「マイページ」から出願、受験票の発行、入学手続書類の発行を行います。

流れはP.27「3.出願の流れ」を参照してください。

①入学志願票

- ・ Web出願サイトにアクセスし、必要事項※を入力の上、自宅・学校・コンビニ等のプリンターより印刷してください。
- ・ Web出願サイトにアップロードする写真は、入学後の学生証用の写真として使用します。
制服姿やスナップ写真などは避け、適切な写真をアップロードしてください。
- ・ 登録後は志望学科・専攻の変更、登録内容の変更はできません。
誤りがないよう、注意して入力してください。

※連絡先欄には、志願者本人と確実に連絡が取れる連絡先を入力してください。
連絡が取れず生じた不利益について、本学は一切の責任を負いません。

②エントリーシート

- ・ 受験生本人が本学指定の様式に手書き（消えない黒ボールペン等）で記入。写真を貼付してください。
様式はホームページからダウンロードしてください。
入試情報 URL：<https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/entrance.html>
- ・ 写真は、上半身正面向、無帽無背景で出願前3か月以内に撮影したもの（白黒。カラーいずれも可）。
通常眼鏡使用者は眼鏡を着用してください。
縦4 cm×3 cmのもの（裏面に氏名記入）を写真貼付欄に全面糊付けしてください。
※エントリーシートに貼付する写真は、Web出願サイトにアップロードする写真と違うものでも構いません。

出願手続 2. 出願手続書類（2 / 3）

③出願資格を証明する書類（出願前3か月以内に発行されたもの。一部を除き原本。）

- ・ 下表を参照し必要な書類を提出してください。
- ・ 特別入試は出願資格の確認が必要な場合があるため、期間には余裕をもって出願してください。
- ・ 提出書類と入学志願票の氏名の表記が異なる場合、本人確認証明書類（戸籍抄本）を提出してください。ただし、旧字体と略字体である常用漢字との相違についてはその必要はありません。

入試区分	必要書類
学士入学試験	・ 卒業証明書または卒業見込証明書 ・ 成績証明書（在学中の者は履修中の科目が明記されたもの）
一般編入学試験	・ 卒業証明書または卒業見込証明書 ・ 成績証明書（在学中の者は履修中の科目が明記されたもの） ・ 【該当者のみ】資格取得証明書または資格取得見込証明書（栄養士・保育士・教員免許）
転入学試験	・ 在学証明書（留学生は日本語または英語） ・ 成績証明書（在学中の者は履修中の科目が明記されたもの） ・ 卒業または在籍中の学校の授業内容を明記したシラバス等の写し

【対象者のみ】日本国籍を有しない者で、在留資格が「留学」の場合は、①②のいずれかを提出してください。

（前年度または当該年度の成績を利用）いずれもコピー可。※本学に在籍の者は不要。

- ①独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（EJU）の「日本語」の成績を証明する書類
- ②公益財団法人日本国際教育支援協会および国際交流基金が実施する日本語能力（JLPT）の「認定結果及び成績に関する証明書」

④出願用封筒

市販の角 2 封筒（A 4 サイズが折らずに入るもの）に宛名ラベルを貼付のうえ、出願書類を封入してください。
※宛名ラベルは入学志願票を印刷すると、2 頁目に印刷されます。

⑤出願書類の郵送

④の出願書類一式を「特定記録・速達」を利用して郵送してください。

特定記録で郵送することにより、日本郵政のホームページ（郵便追跡サービス）から配達状況を確認することができるため、本学では「特定記録」での出願を推奨しています。

※特定記録郵便であれば、郵送状況の確認をすることができます。特定記録郵便の控えは、マイページから受験票を確認できるようになるまで各自が保管してください。

⑥受験票

- ・受験票は、出願後、大学で受付をした後、マイページに掲載します。（P.27 「3.出願の流れ」参照）
※記載されている氏名・文字・志願先に誤りがないか確認してください。万が一不備があった場合はアドミッションセンターに連絡してください。（TEL：03-3961-5228）
※電算処理はJIS第2水準までの準拠により、氏名に表記できない文字があり、置き換えられる場合がありますので、ご了承ください。（例：吉→吉など）
- ・出願書類は入学志願票受付日より順次処理します。出願してから受験票をマイページで確認できるようになるまで、5 営業日程度かかる場合があります。

⑦その他注意事項

- ・出願書類は**郵送必着**です。出願期間最終日までに到着するよう、余裕をもって郵送してください。
- ・出願書類に不備があった場合アドミッションセンターから確認の連絡をすることがあります。
連絡が取れず生じた不利益について、本学は一切の責任を負いません。
- ・一旦納入した入学検定料や出願書類はいかなる理由があっても返還・返却することはできません。
- ・出願書類に虚偽の記載があった場合、受験資格、および入学資格を失います。

出願手続 3. 出願の流れ（1 / 2）

東京家政大学のWeb出願は、出願から入学手続まで利用できるワンストップ出願です。

①	事前準備	●パソコン ●プリンター ●メールアドレス ※学校のパソコンやプリンター、スマホやコンビニのネットワークプリントでも構いません。
②	アクセス	大学ホームページから入力画面に進めます。 「受験生・入学情報」>「入試情報」>「Web出願・入学手続き」からWeb出願サイトにアクセスしてください。
③	マイページ作成	志願者氏名、メールアドレスを入力してログインIDを取得、マイページを作成してください。ログインIDとマイページはすべての入学試験で利用します。マイページには出願登録、入学志願票・受験票・合格通知書印刷などの機能があります。 ログインIDは必ずメモしておいてください。 【登録個人情報開示に関するご相談は…】 ライオン企画株式会社 TEL：03-5982-2365 受付期間：月～金（土・日・祝日・年末年始は除く）9時～17時
④	出願情報の登録	志願先等の出願情報を登録してください。 ここでアップロードした写真は入学後の学生証用の写真として使用します。制服姿やスナップ写真などは避け、適切な写真をアップロードしてください。 ・写真は、上半身正面、無帽無背景で出願前3か月以内に撮影したもの（白黒。カラーいずれも可）。 ・通常眼鏡使用者は眼鏡を着用してください。
⑤	入学検定料支払い	●コンビニエンスストアでの支払いを選択した場合 登録したメールアドレスに届いたメールに記載された内容に従って、選択した支払窓口でお支払いください。 支払い後、2時間以内に支払い確認完了のメールが届き、マイページで入学志願票が印刷可能になります。 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWeb出願サイトをご確認ください。 ●クレジットカードでの支払いを選択した場合 出願申込み完了と同時に決済も完了し、マイページで入学志願票も印刷可能になります。

⑥	入学志願票の印刷	入学検定料支払い後、支払完了通知が届いたら、マイページから入学志願票 (PDF) をA4サイズで印刷します。一緒に宛名ラベルが印刷されます。
⑦	入学志願票・出願書類の郵送	市販の角2封筒に宛名ラベルを貼り付け、出願期間必着で郵送してください。
●入学志願票が受理されると、お知らせメールが届きます。		
⑧	受験票ダウンロード・印刷	マイページから受験票をA4サイズで印刷します。
●合否発表日		
⑨	合否照会合格通知書と振込依頼書	マイページまたは合否照会サイトから合否を確認してください。合格通知書をA4サイズで印刷し、大切に保管してください。振込依頼書も一緒に印刷し、手続してください。 ※合格通知書と振込依頼書は郵送しません。
●振込完了後、振込完了確認のメールが届きます。		
⑩	学生情報等の登録	振込確認完了後、マイページから学生情報の入力ができるようになるので、必要な情報を登録してください。
●入学手続完了		
⑪	入学手続後の情報	マイページの「入学手続後の情報」から入学式やオリエンテーションの情報を見ることができます。P.38「2.入学手続の完了」の内容を確認してください。

入学検定料の支払い方法（1 / 2）

コンビニエンスストア・クレジットカードでのお支払い

コンビニエンスストア、クレジットカードのいずれかでお支払いください。店頭へは「出願登録受付メール」に記載されている「支払う際に必要な番号」をお持ちください。支払い後、入金を確認できてはじめて入学志願票が印刷できるようになりますが、入金の確認に2時間程度かかる場合もありますので、出願期間に間に合うように余裕を持ち支払ってください。

- ・入学検定料の他に支払手数料が必要です。
- ・入学検定料のお支払い後は、内容の変更ができませんのでご注意ください。
- ・入金の確認に時間がかかる場合があります。
- ・コンビニエンスストアでお支払いの場合、出願登録終了後に通知される支払期限内に入学検定料の支払いがなかった場合は登録情報は無効になります。
- ・コンビニエンスストアで受け取った領収書（レシート）は本学に提出する必要はありません。試験終了まで大切に保管してください。
- ・クレジットカードでお支払いの場合、Webサイトでの出願登録完了と同時にお支払いが完了します。カード決済後の修正・取消はできませんので出願登録を確定する前に内容をよくご確認ください。
- ・一旦納入された入学検定料は返還いたしません。
- ・取扱コンビニエンスストア・支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合はWebサイトにてご案内いたします。

利用時の不明点などについて

●入学試験制度、出願内容などに関するご相談

東京家政大学アドミッションセンター TEL：03-3961-5228

受付期間：平日 9:00～17:00、土曜9:00～12:00

●サイトでの入力や操作方法、支払い方法などに関するご相談

E楽サポートセンター TEL：03-5957-5345

受付期間：各入試区分の出願期間（土・日・祝日・年末年始は除く） 9:00～17:00

現金支払い

コンビニエンスストア

- コンビニ設置のATMは利用できません
- コンビニでは現金のみの取扱いとなります



セブンイレブン
レジへ



ローソン・ミニストップ
Loppi



デイリーヤマザキ
レジへ



ファミリーマート
マルチコピー機



セイコーマート
レジへ

クレジットカード



※支払いするカードの名義人は受験生本人でなくても構いません

試験 1.専門科目

志望する学科の専門科目の履修能力を判定する内容を出題します。出題範囲は以下の通りです。

学科	専門科目
栄養学科	食品学総論、基礎栄養学、調理学、栄養指導論の4教科により出題する。
初等教育学科	教育学や教育心理学などの教職に関する分野から出題する。
服飾美術学科	服飾造形、服飾デザイン、色彩学、服飾史、被服材料学、染色加工学、被服整理学などに関する分野から出題する。
環境共生学科	基礎化学と基礎生物学の分野およびSDGs（持続可能な開発目標）に関する社会科学分野から総合的に出題する。
英語コミュニケーション学科	英語の基礎学力（英語を読むことと書くことおよび英文法に関する基本的な能力）に関して出題する。
教育福祉学科	心理分野（発達心理学、心理学的支援法）、社会福祉分野（社会福祉概論、精神保健福祉の原理）、社会教育分野（社会教育概論、生涯学習概論）の各分野から一題ずつ出題し、そのうちの一題を選択して解答。
リハビリテーション学科	解剖学、生理学、運動学を中心に各専攻に必要な知識から総合的に出題する。
子ども支援学科	保育学・教育学、子どもの心理・子どもの保健学、子どもの文化（造形・音楽を含む）、各専門分野から総合的に出題する。

試験 2. 試験当日の注意事項（1 / 4）

①受験票

必ず持参してください。万一忘れた場合は、係員に申し出てください。

②集合時間

集合時間までに所定の集合場所に入室し、試験監督者の指示に従ってください。

③遅刻・欠席

遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。試験開始から 20 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長はしません。公共交通機関の事故等により試験開始時刻に間に合わない場合や、やむを得ず欠席する場合は、集合時間までに本学以下連絡先まで必ず連絡してください。なお、災害や事故などにより試験場付近の公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、試験時間を繰り下げることがあります。

【連絡先】

東京家政大学 アドミッションセンター TEL：03-3961-5228（試験当日は8:30より連絡可）

④入退室

集合時間から試験終了までは、発病またはトイレ等、やむを得ない場合以外の試験室からの退室は認めません。

⑤所持品について

解答には黒鉛筆、消しゴムを使用してください。試験時間中に使用できる用具、使用できない用具、使用に許可が必要な用具は次頁に記載しています。必ず確認してください。

試験 2. 試験当日の注意事項（2 / 4）

- ・受験票・写真票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは次のとおりです。
黒鉛筆（H、F、HBに限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ、シャープペンシル（メモや計算に使用する場合のみ可、黒い芯に限る。）、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマーや学習タイマー・大型のものは不可。）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）
これ以外の所持品を使用又は置いている場合には、解答を一時中断させて、試験終了まで預かることがあります。
- ・座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋（多汗症用を含む。）の使用を希望する場合は、試験開始前に監督者に申し出て許可を得てから使用してください。
- ・試験時間中に、次のものを使用してはいけません。
定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類
これらの補助具や電子機器類をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとは不正行為となることがあります。なお、イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。
- ・試験時間中に使用してはいけない電子機器類は、試験室への受験者入室終了時刻までに、必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験開始前に、監督者の指示で電源が切られているか等の確認を行います。
- ・試験室内で、コート類を着用しても差し支えありません。英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- ・耳栓は、監督者の指示が聞こえない場合がありますので、使用できません。
- ・試験時間中、病気・負傷や障害等により机の上に置けるもの以外のものを使用したい場合は、受験上の配慮の申請が必要です。（P.36参照）

⑥不正行為

次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなり、成績は無効となります。

- ・ 解答用紙へ故意に虚偽の記入（本人以外の氏名・受験番号を記入するなど。）をすること。
 - ・ カンニング（試験の教科・科目に関係するメモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
 - ・ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
 - ・ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ・ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ・ 「解答はじめ。」の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
 - ・ 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ・ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等。）、タブレット端末、電子辞書、IC レコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類を使用すること。
- ※イヤホンについては、耳に装着していれば使用しているものとします。試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合は、受験上の配慮の申請が必要です。（P.36参照）
- ・ 「解答やめ。鉛筆や消しゴムを置いて問題冊子を閉じてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
 - ・ 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など。）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ・ 試験に関することについて、自身や他の受験者が有利になるような虚偽の申出をすること。
 - ・ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ・ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ・ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

不正行為の疑いがある場合、試験監督者による事情聴取、別室受験、退出等を求めることもあります。不正行為となった場合それ以降の受験はできません。また、すでに受験した試験も全て無効となり入学資格を失います。

⑦感染症等についての注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻疹、水疱瘡、新型コロナウイルス感染症等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師において伝染のおそれがないと認められた場合にはこの限りではありません。

⑧その他

- ・ 本学近辺で合否連絡の受付・勧誘・印刷物の配布を行う者があっても、本学とは一切関係がありません。発生した事故については本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。
- ・ 生活騒音（自動車、風雨、空調音、くしゃみ等）が発生した場合でも原則として特別な措置は行いません。
- ・ 受験生以外の入場を最小限にするため保護者の入構はできません。控室もありませんので注意してください。

疾病や身体機能等の障害のため、受験上特別な配慮を必要とする志願者は、**出願開始日まで**に必ずアドミッションセンターへ問い合わせの上、ホームページから「配慮に関する相談・申請書」をダウンロードしA4サイズで印刷の上、該当する項目を記入し、診断書（コピー可）と共に出願書類に同封してください。

【問い合わせ先】 アドミッションセンター TEL：03-3961-5228(平日 9:00～17:00、土曜9:00～12:00)

【配慮申請書】 URL： <https://www.tokyo-kasei.ac.jp/admission/entrance/qa.html>

【送 付 先】 〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1 東京家政大学アドミッションセンター

また、それ以降に事故で負傷した方等についても同様に配慮することがありますので速やかに申し出てください。
なお、入学後のカリキュラムの履修および各種プログラムへの参加が困難な場合がありますので、必要に応じて面談をさせていただきます。

受験上の配慮については、場合によってはご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

合否発表、入学手続 – 1.合否発表、入学時納入金納入手続締切

合否発表日時

入試区分	合否発表
学士入学試験	2026年11月2日（月） 10:00（Web発表）
一般編入学試験	
転入学試験	

- ・マイページまたは合否照会サイト [<https://gouhi.eraku-p.jp/era/tokyo-kasei/>] で確認してください。
- ・合否が照会できる期間は3日間です。照会期間を過ぎ照会できない旨の問い合わせには応じられませんので、必ず期間内に照会してください。
- ・合格者は、マイページから合格通知書と入学手続書類（振込依頼書）を印刷してください。郵送はいたしません。各ページA4サイズで印刷してください。

入学時納入金納入手続締切

入試区分	入学時納入金納入手続締切
学士入学試験	2026年11月6日（金）
一般編入学試験	
転入学試験	

- ・入学時納入金は、手続締切日の15:00までにアドミッションセンターで入金確認ができるように納入してください。
- ・入学時納入金は一括納入です（延納手続希望者を除く）。締切日必着で、マイページから印刷した振込依頼書を使用し、電信扱いで振り込んでください。
- ・入学時納入金の振り込みを締切までに完了しない場合は棄権したものとみなします。入学時納入金は一切返還できません。

入学手続の完了

入学時納入金の納入を確認後、「入学許可書」を発行します。

登録メールアドレス宛に振込確認完了通知が届きますので、確認してください。

入学時納入金手続の完了後、マイページから学生情報の入力ができるようになるので、必要な情報を登録してください。

・学生情報の登録・提出までが入学手続きとなります。

- ・マイページより入学許可書を確認後、必ず学生情報の登録を完了し、入学式当日までに「学籍情報兼誓約・同意・承諾書」を出力してください。（「学籍情報兼誓約・同意・承諾書」に表示される学籍番号・クラスは3月末反映予定）
- ・学生情報の登録が完了すると、入学式やオリエンテーション等入学後の情報を見ることができます。マイページの「入学手続後の情報」から必ず確認してください。
- ・出力した「学籍情報兼誓約・同意・承諾書」と学科名・クラス・学籍番号を右上に記入した最終学歴の卒業証明書の2点を入学式当日に必ず持参してください。

入学時納入金

2027年度入学時納入金等は以下の通りです。

学部・学科・学環		入学金	授業料 (前期分)	教育充実費 (前期分)	学生正課外 活動費	後援会費	入学時納入金
栄養学部	栄養学科	260,000 円	350,000 円	227,500 円	2,500 円	25,000 円	865,000 円
	管理栄養学科	260,000 円	350,000 円	227,500 円	2,500 円	25,000 円	865,000 円
児童学部	児童学科	260,000 円	350,000 円	220,000 円	2,500 円	25,000 円	857,500 円
	初等教育学科	260,000 円	350,000 円	225,000 円	2,500 円	25,000 円	862,500 円
共創 デザイン学部	服飾美術学科	260,000 円	350,000 円	225,000 円	2,500 円	25,000 円	862,500 円
	造形表現学科	260,000 円	350,000 円	235,000 円	2,500 円	25,000 円	872,500 円
人文学部	英語コミュニケーション学科	260,000 円	350,000 円	212,500 円	2,500 円	25,000 円	850,000 円
	心理カウンセリング学科	260,000 円	350,000 円	225,000 円	2,500 円	25,000 円	862,500 円
	教育福祉学科	260,000 円	350,000 円	225,000 円	2,500 円	25,000 円	862,500 円
社会デザイン学環		260,000 円	370,000 円	330,000 円	2,500 円	25,000 円	987,500 円
文化情報学環		260,000 円	370,000 円	330,000 円	2,500 円	25,000 円	987,500 円
健康科学部	看護学科	260,000 円	490,000 円	325,000 円	2,500 円	25,000 円	1,102,500 円
	リハビリテーション学科	260,000 円	490,000 円	295,000 円	2,500 円	25,000 円	1,072,500 円
子ども支援学部	子ども支援学科	260,000 円	350,000 円	215,000 円	2,500 円	25,000 円	852,500 円

※各免許・資格取得希望の者は、当該年次に課程費を別途納入します。

入学後納入金

入学後納入金(初年度10月納入)

学科・学環	授業料 (後期分)	教育充実費 (後期分)	入学後納入金 (初年度10月納入)計	初年度年額
栄養学科	350,000 円	227,500 円	577,500 円	1,442,500 円
管理栄養学科	350,000 円	227,500 円	577,500 円	1,442,500 円
児童学科	350,000 円	220,000 円	570,000 円	1,427,500 円
初等教育学科	350,000 円	225,000 円	575,000 円	1,437,500 円
服飾美術学科	350,000 円	225,000 円	575,000 円	1,437,500 円
造形表現学科	350,000 円	235,000 円	585,000 円	1,457,500 円
英語コミュニケーション学科	350,000 円	212,500 円	562,500 円	1,412,500 円
心理カウンセリング学科	350,000 円	225,000 円	575,000 円	1,437,500 円
教育福祉学科	350,000 円	225,000 円	575,000 円	1,437,500 円
社会デザイン学環	370,000 円	330,000 円	700,000 円	1,687,500 円
文化情報学環	370,000 円	330,000 円	700,000 円	1,687,500 円
看護学科	490,000 円	325,000 円	815,000 円	1,917,500 円
リハビリテーション学科	490,000 円	295,000 円	785,000 円	1,857,500 円
子ども支援学科	350,000 円	215,000 円	565,000 円	1,417,500 円

在籍2年目以降

授業料 (年間)	教育充実費 (年間)	学生正課外 活動費	後援会費	年額
760,000 円	515,000 円	2,500 円	10,000 円	1,287,500 円
760,000 円	515,000 円	2,500 円	10,000 円	1,287,500 円
760,000 円	500,000 円	2,500 円	10,000 円	1,272,500 円
760,000 円	510,000 円	2,500 円	10,000 円	1,282,500 円
760,000 円	510,000 円	2,500 円	10,000 円	1,282,500 円
760,000 円	630,000 円	2,500 円	10,000 円	1,402,500 円
760,000 円	485,000 円	2,500 円	10,000 円	1,257,500 円
760,000 円	510,000 円	2,500 円	10,000 円	1,282,500 円
760,000 円	510,000 円	2,500 円	10,000 円	1,282,500 円
740,000 円	660,000 円	2,500 円	10,000 円	1,412,500 円
740,000 円	660,000 円	2,500 円	10,000 円	1,412,500 円
1,040,000 円	710,000 円	2,500 円	10,000 円	1,762,500 円
1,040,000 円	650,000 円	2,500 円	10,000 円	1,702,500 円
760,000 円	490,000 円	2,500 円	10,000 円	1,262,500 円

※各免許・資格取得希望の者は、当該年次に課程費を別途納入します。

入学後の支援

①修学上の配慮・支援について

修学上、特別な支援を必要とする方は、まずはアドミッションセンターまでご相談ください。

東京家政大学アドミッションセンター TEL : 03-3961-5228(平日 9:00～17:00、土曜9:00～12:00)
E-mail : nyushi@tokyo-kasei.ac.jp

②留学生について

- ・入学後の授業は日本語で行われ、日本人学生と一緒に受講することになります。
- ・日本の大学で学ぶためには基本的に在留資格「留学」を得る必要があります。「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできません。
- ・「家族滞在」「定住者」等の在留資格でも入学することもできますが、「留学」以外の在留資格の場合、留学生を対象とする補助制度（奨学金、日本語の授業受講 等）は利用できません。「家族滞在」等から「留学」への在留資格変更の申請については、グローバル教育センターにお問い合わせください。

《留学生の修学に関する相談窓口》

グローバル教育センター TEL : 03-3961-1861

入学前準備教育

本学では、合格した受験生一人ひとりの成長を促すために、「入学前準備教育」を実施します。入学までの期間に提示された教育プログラムを受講していただくことで、大学において必要とされる基本的知識を習得し、学びに向けた意欲と主体性を備えてもらうことを狙いとしています。

資格取得に関する注意事項（1 / 2）

資格・免許	注意事項	該当学科
中学校・高等学校教諭 一種免許状	すでに二種免許状を取得している場合は、2か年の在学期間で中学校・高等学校一種免許状を取得可能であるが、教職課程を初めて履修する場合は、原則として3か年の履修期間が必要になる。	栄養学科、服飾美術学科、 環境共生学科、英語コミュニケーション 学科、教育福祉学科
東京都一種公害防止 管理者	3年次入学により東京都一種公害防止管理者資格を取得することはできない。	環境共生学科
毒物劇物取扱責任者	3年次入学により毒物劇物取扱責任者を取得することはできない。	環境共生学科
衣料管理士資格	3年次入学により衣料管理士1・2級共に取得することはできない。	服飾美術学科
保育士資格	3年次入学により新たに保育士資格を取得することはできない。	子ども支援学科
食品衛生管理者・食品衛生 監視員（任用資格）	未登録施設からの入学者は既履修科目の認定はできないため両資格の 取得は困難である。	栄養学科
小学校教諭一種免許状	3年次入学により教職課程を初めて履修し、小学校の一種免許状を取 得する場合は、2年間で取得可能であるが、履修方法によっては3か年 以上の履修期間を必要とする場合もある。また、2年間では小学校教 諭一種免許とともに、幼稚園教諭一種、中学校教諭二種（英語）およ び特別支援学校教諭二種の免許状を取得することは原則としてできな い。	初等教育学科
社会福祉士 （受験資格）	3年次入学により社会福祉士課程を履修する場合は、履修方法によっ ては3か年以上の履修期間を必要とする場合もある。	教育福祉学科
精神保健福祉士 （受験資格）	3年次入学により精神保健福祉士課程を履修する場合は、履修方法に よっては3か年以上の履修期間を必要とする場合もある。	教育福祉学科

資格取得に関する注意事項（２／２）

資格・免許	注意事項	該当学科
図書館司書	３年次入学により図書館司書課程を履修する場合は、履修方法によっては３か年以上の履修期間を必要とする場合もある。	英語コミュニケーション学科、 教育福祉学科
学芸員資格	３年次入学により学芸員資格課程を履修する場合は、履修方法によっては３か年以上の履修期間を必要とする場合もある。	服飾美術学科、教育福祉学科
幼稚園教諭一種免許状	幼稚園教諭二種免許状を取得（取得見込み）の場合は、入学後に必要な単位を取得することで幼稚園教諭一種免許状を取得することが可能である。	初等教育学科、子ども支援学科
特別支援教諭一種免許状	原則として３年次入学により特別支援学校教諭一種免許状を取得することはできない。	子ども支援学科

【注意】

- ・初等教育学科は小学校教諭一種免許状の資格を取得することを原則とし、幼稚園教諭一種免許状または中学校教諭二種免許状（英語）のみを取得することはできない。
- ・公認心理師は教育福祉学科では取得することができない。
- ・他学科履修で取得する資格・免許状の取得可否は入学後の確認となります。

物件情報

本学では、実家が地方にある学生のために学寮・学生会館・アパート・学生マンション等の物件情報を本学のホームページに掲載しています。本学ホームページから「MENU」→「学修支援と学生生活」→「大学指定寮・物件情報（板橋）」もしくは「学寮・物件情報（狭山）」を閲覧してください。

東京家政大学 各種奨学金について

本学が取り扱う奨学金はホームページに掲載しています。

奨学金について URL：https://www.tokyo-kasei.ac.jp/campus_support/scholarship/scholarship.html

国の教育ローンについて

入学時、在学中の教育資金を融資する制度があります。

「国の教育ローン」（日本政策金融公庫）※2026年7月現在

高校、大学、専門学校等への入学時・在学中に必要な費用を対象とした公的な融資制度です。

（融資額：学生・生徒1人あたり350万円まで）

詳しくは、教育ローンコールセンター、日本政策金融公庫ホームページをご確認ください。

教育ローンコールセンター TEL：0570-008656または03-5321-8656

日本政策金融公庫 URL：<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

高等教育の修学支援新制度

- ・高等教育の修学支援新制度は経済的支援が必要な所得世帯に対し、修学に係る経済的負担を軽減することを目的としています。本学は文部科学省により、制度利用対象認定を受けています。本制度はすべての高等教育機関で利用できる制度ではありません。「教員構成・理事体制・成績管理・安定経営」、これらの条件を満たし、文部科学省の認定を受けた高等教育機関のみ利用が可能となる制度です。本学に入学される方で制度要件を満たす方はこの支援を受けることができます。
- ・多子世帯の大学等の授業料無償化（減免）が高等教育の修学支援新制度に導入されています。詳細は文部科学省のホームページを確認してください。
- ・本学においては、入学時納入金は納付期限までに一旦納入していただきます。入学後に所定の手続きを経て、減免額が確定した後に、減免相当額を還付いたします。

「こども性暴力防止法」施行に伴う留意点

「こども性暴力防止法」が2026年12月25日にスタートします。
～ 実習生も性犯罪前科の有無の確認が求められる可能性があります～

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、2026年12月25日より、学校や保育所、学習塾等、こどもに対して教育・保育等を行う事業者には、性暴力を防ぐための取組が求められます。実習生（例：教育実習生）についても性犯罪前科の有無の確認が求められる場合がありますので、留意点をお知らせします。

事業者求められる取組

- ・ 日頃から、こどもを性暴力から守る環境づくりを進めます。
- ・ こどもと接する業務に就く人に、性犯罪前科の有無を確認します。
- ・ 性暴力のおそれがある場合は、こどもと接する業務に就かせないようにします。

実習生に関する留意点

- ・ 実習計画において、こどもと一対一になることが実習上予定されている、実習期間が相当長期にわたるなど、実習生がこどもに対して支配性、継続性及び閉鎖性を有する実習であると判断された場合、性犯罪前科の有無の確認が必要となる場合があります。なお、性犯罪前科の有無の確認が必要かについて最終的な判断は実習先の事業者が行います。
- ・ 性犯罪前科の有無の確認が必要であると判断された場合、実習生本人よりこども家庭庁へ戸籍等の提出が必要となります。
- ・ 性犯罪前科があると確認された者は、こどもと接する実習はできないこととなります。
- ・ 法の趣旨を理解いただくための同意書や、性犯罪前科がない旨の誓約書の提出を求めます。
- ・ 性犯罪前科がある場合、実習ができないことにより免許状・資格の取得ができなくなる可能性があります。
- ・ 性犯罪前科がある場合、実習ができないことにより卒業ができなくなる可能性があります。

【参考】

制度の詳細は下記、関連リンクをご覧ください。

- ・ こども家庭庁ホームページ

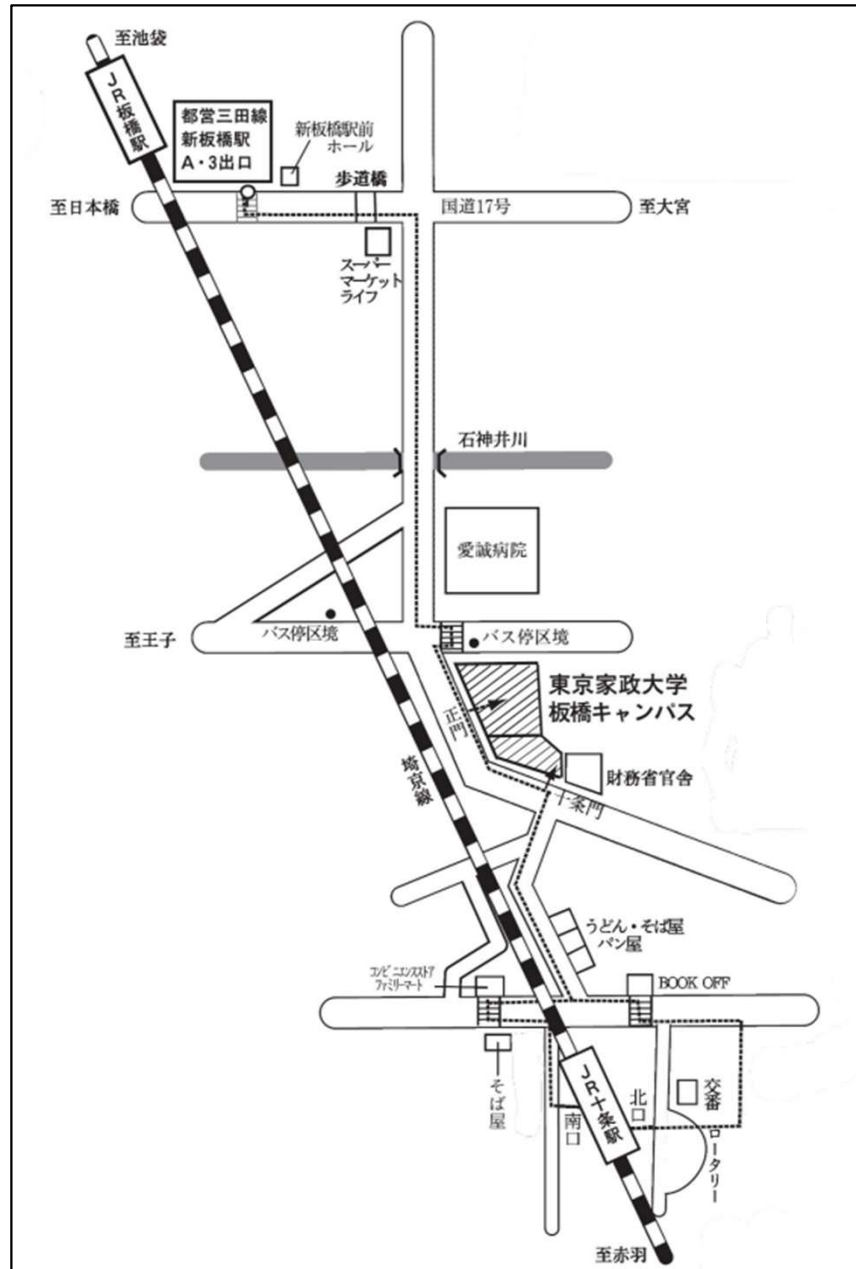
「こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）」

URL： <https://www.cfa.go.jp/policies/child-safety/efforts/koseibouhou>

入学辞退に伴う学費返還

2027年度学士入学試験、一般編入学試験、転入学試験の合格者で入学時納入金の全額を納入した者が入学を辞退する場合には、入学辞退・学費返還の手続きを行うことにより学費等の一部を返還します。

1. 返還できる学費等は、2027年度前期分授業料、教育充実費、学生正課外活動費、後援会費とします。
2. 入学辞退・学費返還についての詳細な方法は、2026年9月に公表予定です。
3. 入学辞退・学費返還の期限は2027年3月31日（水）までとし、期限超過後の返還はできませんのでご注意ください。
4. 返還金の送付方法は、「金融機関」振込とし、振込人名「学校法人 渡辺学園」で4月下旬頃までに返還する予定です。



▶東京家政大学 板橋キャンパス
〒173-8602
東京都板橋区加賀1-18-1

【交通アクセス】

JR埼京線 十条駅徒歩 5 分

都営三田線 新板橋駅徒歩12分

JR京浜東北線 東十条駅徒歩13分

